

2022年12月16日

株式会社三菱UFJ銀行

スペースワン株式会社への出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、小型ロケットによる人工衛星打ち上げ事業に取り組むスペースワン株式会社（代表取締役社長 とよだ まさかず 豊田 正和、以下 スペースワン）に出資し、事業共創を目指していくことで合意いたしました。

宇宙産業の市場規模は、2021年時点で44兆円、2030年には76兆円に達する見通し^[1]であり、世界で最も成長する市場の一つです。今後、人工衛星を通じた通信や測位、地球観測データの利活用はさらに幅広い分野で拡大していくことが想定され、さまざまな社会課題の解決に貢献することが期待されています。一方で、その根底を支える人工衛星打ち上げ事業については、我が国に低コストかつ高頻度で打ち上げ可能なロケットや射場が存在しないという、産業構造上の課題を抱えています。

スペースワンは人工衛星を搭載する小型ロケットの開発から打ち上げまでを一貫して担う企業です。自社運営のロケット打ち上げ射場（スペースポート紀伊）を有しており、本年度中に打ち上げ事業を本格化し、将来的には年間20機以上の小型ロケット打ち上げを目指す計画です。当行は、本出資に伴うパートナーシップのもと、当行の有する幅広いネットワークや総合金融サービスの知見・ノウハウの提供などにより、スペースワンの事業価値の向上と国内宇宙産業の課題解決に貢献します。また、宇宙産業の根底を支える本事業に参画することで、衛星開発企業をはじめとする宇宙関連事業者など、さまざまな民間事業者との連携を進め、新たな産業クラスターの創出を目指してまいります。

当行は、「お客さまと事業リスクを共にし、社会課題の解決に向けた新産業を創出」する事業共創に取り組んでおります。本出資は宇宙領域における事業共創投資の第一弾であり、今後、宇宙産業における機器製造やインフラ構築、サステナブルな衛星軌道維持、衛星データ利活用による社会課題解決などに向けて、産官学連携を含めたオープンイノベーションを促進し、我が国の産業発展に貢献してまいります。

【スペースワンの概要】

正式名称	スペースワン株式会社
代表者	豊田 正和
所在地	東京都港区芝公園3丁目5番10号
設立	2018年7月
事業内容	小型人工衛星に対する宇宙輸送サービスの提供

[1] 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社による試算